



本郷台中だより

～学ぶ楽しさを知り、夢や希望を育む学校～

令和5年度第7号
令和5年9月1日
文京区立本郷台中学校
校長 江熊 秀昭

関東大震災100年から学ぶ

校長 江熊 秀昭

関東大震災から100年が経過し、都や国は様々な対策をしてきました。防災や減災への人々の意識も向上しています。しかし、それでも一番被害予測が大きい東京湾北部地震が冬の夕方に発生した場合には、死者約9千、建物被害約30万です。

災害などの混乱の中で、一番怖いのは何でしょうか？無責任な情報とそれに対する人々の反応です。2016年の熊本地震直後に他県の男性が「動物園からライオンが放たれた」とライオンの写真を添え、デマ情報をSNSに投稿した。現実を伝えないニセ情報は混乱に拍車をかけ、生命を脅かす可能性もあります。

関東大震災でも「朝鮮人が井戸に毒を入れた」という流言が広まり、朝鮮人だけでなく、訛りのある地方出身者も虐殺されるなどの痛ましい事件が発生しました。

災害などで多くの人々の不安や不満が募り、同じ心理状態になったときに流言が広がりやすいと考えられています。真偽を確かめずにSNSで引用し、友人やフォロワーに「役立てば」と伝えた“善意”の情報がデマだったらどうなるのでしょうか？避難行動に影響して人命が失われたりすることも考えられます。

どれだけ建物やライフラインの災害対策を進めても、人間の心理を管理するのは困難です。情報を発信する際も、受け取る際も冷静に判断することが必要です。そのためには、日頃から軽はずみな言動をしない、読書などで情報判断力を高めることが大切です。

学校生活でも同様です。些細な発言や悪意のある言動が、人を傷つけ、いじめへと発展する可能性は大いにあります。

過去から学び、みんながしあわせを感じられる学校から“社会全体”がしあわせを感じられるような言動のできる責任ある人になってください。

関東大地震 都HPより
1923（大正12）年9月1日正午2分前発生
都内死者約7万 被害住宅棟数約20万

噂の種類

デマ

- ・ねつ造された意図的な情報

流言

- ・一過性、非意図的で広範囲に広がる
- ・社会的影響をもたらす

地震 その時100のポイント

地震だ！ まぎ身の安全

揺れ発生の瞬間、建物や家具が揺れ出す。揺れが最大になる間は、身の安全を確保する。大人は子どもを助ける。揺れが収まった後、安全を確認する。

【避難】（揺れが収まった後）

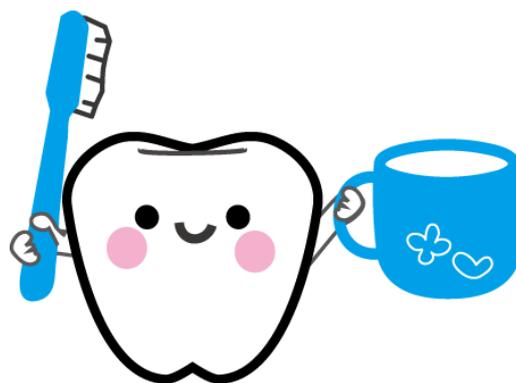
避難経路を確認し、揺れが収まった後、安全を確認する。エレベーターは利用しない。階段は手すりをついて下り、エレベーターは利用しない。避難経路を確認し、揺れが収まった後、安全を確認する。

地震直後の行動

- 揺やついて 火の元確認 初期消火**
揺やついてから、火の元を確認し、初期消火をする。揺やついてから、火の元を確認し、初期消火をする。
- あわてた行動 けがを防ぐ**
あわてた行動は、けがの原因になる。あわてた行動は、けがの原因になる。
- 窓や戸を閉め 出口を確認**
窓や戸を閉め、出口を確認する。窓や戸を閉め、出口を確認する。
- 門や扉に近 近寄らない**
門や扉に近づかない。門や扉に近づかない。
- 火災や津波 速やか避難**
火災や津波発生時は、速やかに避難する。火災や津波発生時は、速やかに避難する。
- 正しい情報 確かめ行動**
正しい情報を確かめる。正しい情報を確かめる。
- 確かな情報 届ける**
確かな情報を届ける。確かな情報を届ける。
- 協力して 救出・救助**
協力して救出・救助を受ける。協力して救出・救助を受ける。
- 避難の前に 安全確認電気・ガス**
避難の前に安全確認電気・ガス。避難の前に安全確認電気・ガス。

生徒の活躍

- ・バドミントン部 区夏季大会 女子ダブルス第3位
- ・吹奏楽部 都吹奏楽コンクール
B組 銅賞
- ・ダンス部 小中学生ダンスコンクール東日本大会
銅賞
- ・歯と口の健康づくり2023 図画・ポスターの部
佳作：3名
- ・良い歯の表彰 46名(3年生対象)
- ・PTAスポーツフェスティバル ドッジビー
準優勝



9月行事予定

1日	金	始業式
4日	月	生徒会朝礼・安全指導・3年領域別テスト
6日	水	2年マナー教室
9日	土	土曜授業・セーフティ教室・オープンキャンパス
11日	月	生徒会朝礼
12日	火	本郷小学校体験入学
14日	木	湯島小学校体験入学
18日	月	敬老の日
19日	火	3年修学旅行：奈良・京都（～21日） 2年職場体験（～21日）
20日	水	1年ふれあい給食
22日	金	生徒会役員選挙
23日	土	秋分の日・櫻木神社祭礼
25日	月	学年朝礼